

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成31年3月20日

事業所名:はなのき放課後等デイサービス

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			利用児が増えることを想定して、空間利用に工夫を行います。。
	2 職員の配置数は適切であるか	○		法令に沿った人員配置を行っています。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○		バリアフリーの環境に加え、個々の介助方法でリハビリ係と連携し実施しています	必要に応じて、利用児一人ひとりにあつた。介護グッズなどの活用を検討します。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○	月1回の放課後デイの会議と個別支援計画に基づく6ヶ月モニタリングを実施しています	アンケートもしくはモニタリングの際の家族からの意見聴取と会議等による業務の見直しと検証をしています
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			今回開所後、初めての調査実施のため、今後業務改善に繋げる課題が明確化できたので実施していきます
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			今回のアンケート内容と考察を公開する予定です
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		今後、必要に応じて行っていきます
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		隣接する花ノ木医療福祉センター主催の研修に参加し、職員間で情報共有しています。	センター主催の研修や多機能型で運営している生活介護事業の研修に参加していきます。

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	9	○		事前にご家族からの聞き取りと了解をいただいたうえでの情報収集によりアセスメントを行い、個別支援計画に反映させています。	現在3名の利用者には計画作成し、面談実施している。個々人のニーズが違うが客観的に分析した上で計画作成する見込みです。
	10		○	主に身体の状態や医療的ケアの内容が把握できるツールを使用しています。	発達状況等も検討できるツールの検討していきます
	11		○	開所後、徐々に利用児の人数が増え、関係構築をしている段階で、一人ひとりの様子を見ながら臨機応変に児童指導員がプログラムを計画し実施していきます。	関係構築を継続し、利用児のアセスメントを進め長期休暇の際には継続的な活動内容を検討していきます。
	12	○		ご家族からの希望により、必要な活動は行いつつ、臨機応変な対応をしています。	利用者の家族からの要望を優先しながら、利用者の特性に合わせ、主体的に取り組める活動を模索しています。
	13	○		平日の活動は、学校での疲れをケアすることを目的としています。	現在長期休暇が3月後半から開始になるので設定中です。
	14		○	1日に利用していただく児童の人数によって、その都度、活動内容を検討し対応しています。	長期休暇中の活動について、検討しています。
	15	○		開設当初から色々な職員の動きを試し、職員間で協議を行い、当日はある程度、打ち合わせを簡素化できるようにしました。	常に複数人数の対応が必要になった場合の動きを検討していきます。
	16		○	業務中のアイデアは状況に応じてその場で確認しつつ、変則的な勤務体制を取っているため、協議が必要な内容は意見を集約し、後日会議にて確認しています。	必要なことを常に書面等、誰とも共有できる方法で確認していきます。
	17	○		発作や呼吸状態等の観察が必要なこと、活動においてはアプローチによる表情の変化なども記載し、必要に応じて口頭、書面にて情報共有を行い対応しています。	
	18	○		年間計画予定をたて計画後6ヶ月モニタリングを実施予定	
19	○		ご家族の介護負担が少しでも軽減できればと週1回だが、入浴サービスを取り入れています。		

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童の状況を把握している。常勤の児童指導員や係の看護主任が対応しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		ご家族の了解のもと、送迎に関わる情報を学校と共有しています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		受け入れ前に主治医を確認し、ケアの内容等で確認が必要なことはご家族を通して確認し、了解があれば主治医に直接確認しています。	情報確認は行っているが連絡体制はまだ整えられていません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		就学前の事業所等は、卒業されてからの経過が長いいため連携をしません。	今後、利用予定の児童に対して必要性があって、ご家族から了解があれば連携していきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		対象となる利用者がおりません
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		同一法人の中に左記の機能を有している部署があるため、必要があって了解が得られれば連携します。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		検討課題とします。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○		福祉保健圏域内の自立支援協議会に放課後等デイサービス事業所の集まりがあるため、集まりの意図を確認し、こちらの参加目的等を明確にしたうえで、必要であれば参加を検討していきます
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時や連絡帳に日頃の様子をお伝えしている。課題については計画時の面談のみになっておりその都度要望がある時は対応しています。	長く利用していただく中で本人、ご家族との関係作りが進み、自然と相談いただけるように努めます。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		家族との関係構築を優先し、一緒に考える機会を設定する必要がある場合は検討します。	

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に丁寧に説明を行い、文書もお渡ししています
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		ご家族から発信があれば都度、対応しています。	関係構築が進む中で、必要に応じて障害児計画相談と連携しつつ対応していきます。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	父母の会はありません	放課後等デイサービス事業所として、保護者会等を立ち上げる必要があるのかをご家族とも話し合いながら検討していきます。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情受付窓口を設置しており、体制としては整っています。	苦情とまではいかない日々の要望等についても関係を構築しながら聞き取れるようにしていきます。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○	独自の会報等の発行はしていません。	ご家族からの意見集約やプライバシー等について、充分、議論し検討していきます。
	35 個人情報に十分注意しているか	○		個人情報保護規定に基づき全職員に周知しています。	
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		日々の連絡帳や送迎時でのやりとりの他、健康面や情緒面で気になる時は電話連絡し、意思の疎通を図っています。	今後ご家族からの意見を集約し、配慮していきます。
37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		経営母体である法人と保護者会共催による祭りを開催しています	今後、放課後等デイサービスとしても参加していく予定です。	
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		各対応マニュアルは作成している。特に医療面の対応については、面談等で個々に確認しています。	個々の対応については、ご家族へ伝えているが、マニュアルとして周知の徹底に工夫を検討します。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○		今年度は10月開所で利用者も少なかったこともあり実施できませんでしたが、来年度は他の事業利用者・職員とも連携し、避難訓練の計画を予定しています。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		センターでの虐待防止研修に参加しています	今後も研修会に参加していきます。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		支援計画の面談時に身体拘束についての説明と同意をいただき、サービス計画に記載しています。	
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		家族に受け入れの際、確認しています。	必要があれば、医師とも相談して対応していきます。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		事例があった場合は報告書を作成し事業所内で共有し対策をたてています。又センターの医療管理委員会に報告しています。	